

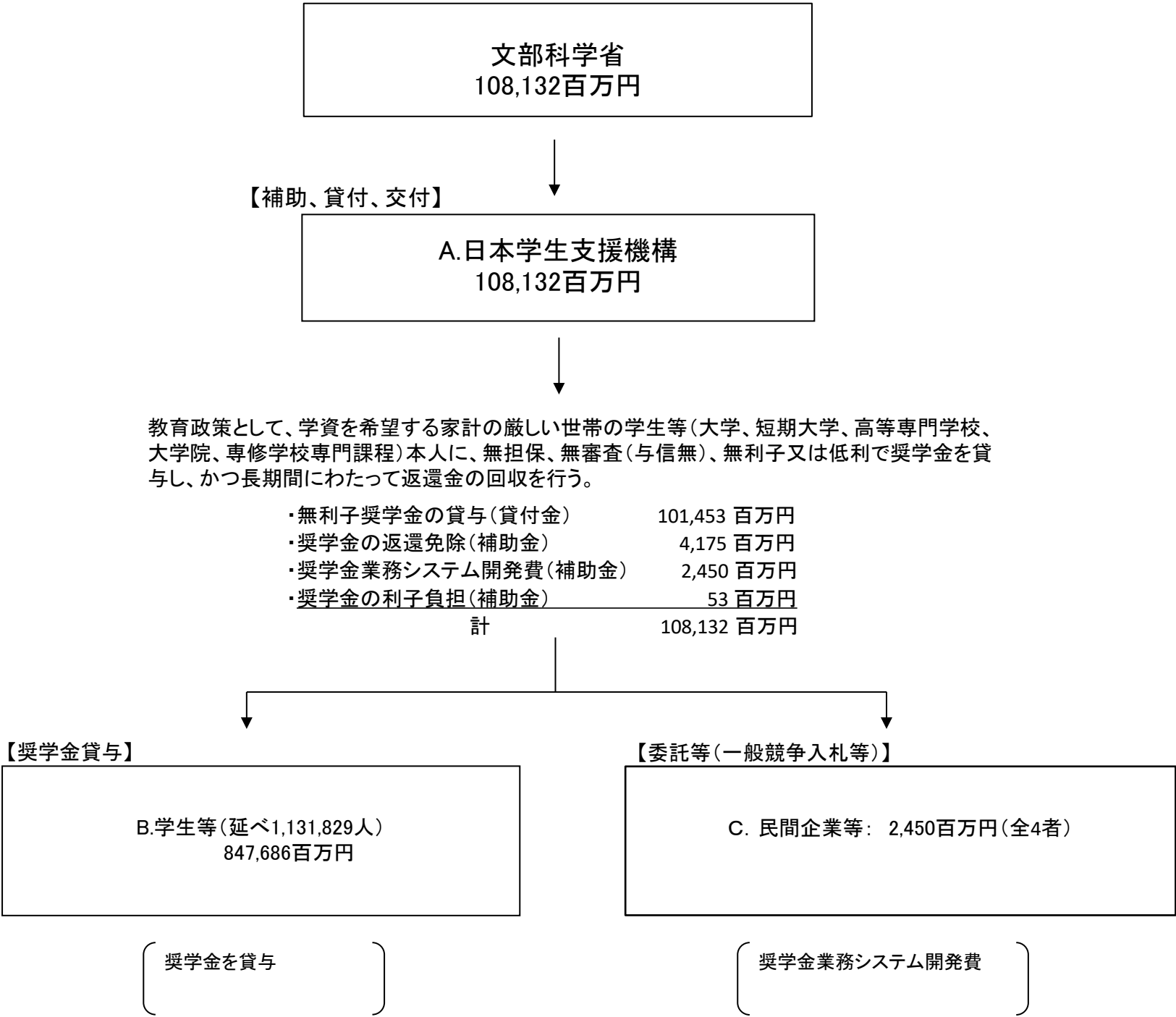
	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	独立行政法人日本学生支援機構貸与型奨学金事業				担当部局庁	高等教育局	作成責任者
事業開始年度	昭和18年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	学生支援課	学生支援課長 吉田 光成	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人日本学生支援機構法 第3条、第13条			関係する 計画、通知等	第3期教育振興基本計画 (平成30年6月15日閣議決定)		
政策	5 奨学金制度による意欲・能力のある個人への支援の推進			主要経費	育英事業費		
施策	5-1 意欲・能力のある学生に対する奨学金事業の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_5-1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	学生等が経済的理由により修学を断念することのないよう奨学金を貸与し、教育の機会を確保する。						
現状・課題 (5行程度以内)	令和4年度において、独立行政法人日本学生支援機構の貸与型奨学金事業の貸与人員は約113万人であり、貸与基準を満たす希望者全員に奨学金を貸与している。引き続き、貸与基準を満たす希望者全員への貸与を確実に実施する必要がある。□ □						
事業概要 (5行程度以内)	独立行政法人日本学生支援機構の貸与型奨学金事業は、教育政策として、学資を希望する家計の厳しい世帯の学生等(大学、短期大学、高等専門学校、大学院、専修学校専門課程)本人に、無担保、無審査(与信無)、無利子又は低利で奨学金を貸与し、かつ長期間にわたって、返還金の回収を行う。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助、交付、貸付、その他						
補助率等	定額補助						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	101,957	107,841	105,753	104,451	-
		補正予算(B)	10,046	2,414	5,692	2,407	
		令和5年度第1次補正予算				2,407	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	1,065	2,500	5,762	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 1,065	▲ 2,500	▲ 5,762	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	110,938	108,820	108,183	112,620	-	
	執行額(G)		110,938	108,756	108,132		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		99%	99%	97%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	育英事業費			令和6年度概算要求においては事項要求になるため金額記入不可		
	(目)	育英資金貸付金	100,304				
	(目)	育英資金返還免除等補助金	4,022				
	(目)	育英資金利子補給金	126				
		その他	▲ 0	-			
	計(A)		104,451	-			

活動内容① (アクティビティ)		学資を希望する家計の厳しい世帯の学生等(大学、短期大学、高等専門学校、大学院、専修学校専門課程)本人に、無担保、無審査(与信無)、無利子又は低利で奨学金を貸与する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		家計等の貸与基準を満たす希望者全員が奨学金の貸与を受けて修学できる	(独)日本学生支援機構の奨学金事業の貸与人員	活動実績	万人	120	116	113	-	-
				当初見込み	万人	135	127	123	120	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	貸与基準を満たす希望者全員への奨学金の貸与により、高等教育の機会を家庭の経済状況によらず確保していくため、貸与基準を満たす奨学金申請者の採用率を短期的アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		教育の機会均等の観点から、学生等が経済的理由により進学等を断念することがないよう、(独)日本学生支援機構の奨学金事業を充実し、修学機会の確保を図る。	貸与基準を満たす貸与型奨学金申請者の採用率	成果実績	%	100	100	100	-	
				目標値	%	100	100	100	-	
				達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人日本学生支援機構調べ								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	家計等の貸与基準を満たす希望者全員が奨学金の貸与を受けて修学できるようになることで、高等教育機関等への進学率が向上すると考えられるため、大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程への進学率を長期的アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		教育の機会均等の観点から、学生等が経済的理由により進学等を断念することがないよう、(独)日本学生支援機構の奨学金事業を充実し、修学機会の確保を図る。	大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程への進学率	成果実績	%	83.5	83.8	83.8	-	
				目標値	%	-	-	83.8	-	
				達成度	%	-	-	100	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省「学校基本統計」								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

[illegible]

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかに
ついて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	無利子奨学金の貸与(貸付金)	101,453	奨学金	学資等	4
	事業費	奨学金の返還免除(補助金)	4,175			
	事業費	奨学金業務システム開発費(補助金)	2,450			
	事業費	奨学金の利子補給金(補助金)	53			
	計		108,131	計		4
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物件費	奨学金の申込・推薦等の業務見直しに係るシステム構築及び奨学金業務システム(JSAS)の改修・運用保守業務(R5.3納入分)	581			
	計		581	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本学生支援機構	7020005004962	奨学金の貸与、返還金の回収等	108,132	その他	-	-	

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学生A	-	-	4	その他	-	-	-
2	学生B	-	-	3	その他	-	-	-
3	学生C	-	-	3	その他	-	-	-
4	学生D	-	-	3	その他	-	-	-
5	学生E	-	-	3	その他	-	-	-
6	学生F	-	-	3	その他	-	-	-
7	学生G	-	-	3	その他	-	-	-
8	学生H	-	-	3	その他	-	-	-
9	学生I	-	-	3	その他	-	-	-
10	学生J	-	-	3	その他	-	-	-

